



『気』

元気、本気、やる気、弱気、強気、負けん気、気にかける、気に入る、気をつかう、気合、気まぐれ、気分、気が利く、気になる、気立て、健気、勇気、根気、呑気、邪気、活気・・・

『気』を使った言葉には人の気持ちを表すものが多くあります。そして、それらは自分の中から出てくるものとしてとらえることができます。

『本気』になって物事に取り組むのに、周囲の励ましや助言を必要とする場合もあります。しかし、最終的にその励ましや助言を『本気』に変えるのは自分自身です。

『弱気』な自分とそれに抗う『元気』な自分がいた時、どちらの自分に踏み込むかを決めるのは自分です。

物事を達成した人たちが「周囲に支えられて頑張ることができました」とコメントされていることがあります。それはたしかに事実でしょう。しかし、周囲の支えを力に変えたのはその人の『やる気』であったり、『勇気』だったりしたのではないかと思います。

子どもたちは、これからの成長段階で、自分の力で困難を切り開く力を少しずつでも獲得しないとイケません。そして、その根底にあるのは最後までやり遂げる『根気』であったり、何事にも前向きに突き進む『活気』であったりすると思います。

気持ちは自分自身がつくり出すもので、周囲から与えられるものではないと思います。また、自分を突き動かすのも抑制するのも自分の気持ちです。

この気持ちのコントロールは、社会生活を営む上で大切な要素になります。